



別海町立中春別中学校



学校だより

令和4年1月31日発行 校長 岩崎 撰也

「人生 100 年の時代」を生きる子どもたち

校長 岩崎 撰也

オミクロン株が猛威をふるい、北海道においても1日の感染者が2,000人を超えるという報道に、感染の危険に関わる包囲網がどんどん狭まってくるのを感じています。学校としては、リスクの高い活動は状況を見て中止の判断をするとともに、これまで以上の感染対策をした上でできる限りの教育活動を行いたいと考えております。また、生徒が登校できない事態に備えてリモートでの学習活動についても準備を進めておりますが、昨年のような臨時休校という非常事態とならないことを祈っています。

さて、1月18日に行った始業式では、「人生100年の時代を生きる」という話をしました。ロンドンビジネススクールのリンダ・グラットン教授が著書「ライフシフト」の中で、「先進国で2007年に生まれた人の2人に1人は107歳を超えて生きる。」と予測しています。(今の中学生は該当します。)また、厚生労働省が発表した2020年の日本人の平均寿命は男性が81.64歳、女性が87.74歳でした。この数字は過去最高を9年連続更新しているそうです。医療の進化や食生活の変化によってこの先も平均寿命が延びることを考えると、100歳まで生きることがあながちうそではないと感じられると思います。「ライフシフト」のなかでリンダ・グラットン教授は今の社会における3ステージ(教育～仕事～引退)から脱却し、マルチステージの生き方に変わるのが大切だと述べています。マルチステージとは転職でステージを変える、副業でステージを増やす、ボランティアや地域活動を始める、ステージを増やすために新たに学び直すなど、複数のキャリアを持った多様な生き方をするという事です。

最近テレビで若宮正子さんという方の存在を知りました。この人は80歳を過ぎてからスマホ用のゲームアプリ「HINADAN」を開発したり、エクセルアートを生み出したりしています。こうした活動が目にとまり、アップル社から「CEOのティム・クックがあなたに会いたがっています。」というメールが届き、アップル社に招かれました。それから国連総会で講演したり、国のデジタル社会構成会議の構成員を務めたりするなど、とてもご高齢の方とは思えない活躍をされています。この人の言葉に「生きている間は進化する」というものがありますが、知的好奇心を持って常に「進化」することが「人生100年時代」を楽しむコツなのだと教えられました。

話の最後に、新しい年の始まりに当たり、生徒の皆さんも挑戦する気持ちとか目標を持って頑張ってもらいたいと呼びかけました。公務員の定年延長が決まり、引退するのは延びそうですが、自分自身も「マルチステージ」を意識して「進化」したいと思っています。

